

住宅火災を防ぐためには

主な出火原因と対策

① たばこ



チェック

- ふとんやベッドの上でタバコを吸わない。
- 灰皿にはいつも水を入れておく。
- 火のついたタバコを灰皿に置いたままにしない。
- 灰皿の吸いがらほこまめに捨てる。
- 吸いがらを捨てる時は火が消えているか確認する。

② コンロ



チェック

- コンロの周りに燃えやすいものを置かない。
- コンロを使用しているときはその場を離れない。
- コンロから離れるときは必ず火を消す。
- 袖口に火がつかないように注意する。
- 換気扇や壁などをこまめに掃除する。

③ ストーブ



チェック

- 暖房シーズンの前に、ストーブの点検をする。
- ストーブの上や周りに可燃物や洗濯物を近づけない。
- 給油するときは、必ず火を消す。
- 部屋に誰もいないときは、ストーブを必ず消す。
- ストーブをつけたままで就寝しない。
- ストーブの周りにスプレー缶などを置かない。

④ 放火



チェック

- 家の周囲、共用部の廊下及び階段に燃えやすい物を置かない。
- 資源・ゴミは収集日の朝に出す。
- 屋外灯を点灯する。
- 物置、車庫には必ず鍵をかける。
- 空家の侵入防止措置をする。
- 防災機器を活用する。(センサー付ライト、センサー付ブザー、監視カメラ[ダミーカメラ])